

項目	説明	
試料・情報の利 用目的 及び 利用方法	研究課題名	乳癌組織における血液凝固第7因子発現とアンドロゲン受容体発現との関連解析
	研究目的	乳癌の新たな診断、治療方法発掘のために乳癌の細胞において作られるタンパク質である血液凝固第7因子について研究を行う。特に再発乳癌など治療の難しい症例について検討する。また、近年男性ホルモンであるアンドロゲンの作用を止めることにより乳癌治療の成績が向上することが報告されており、今後乳癌の治療に重要になる可能性がある。最近、我々はアンドロゲンが乳癌の細胞の中で血液凝固第7因子の生産に重要である可能性を見出した。本研究では、乳癌の細胞における血液凝固第7因子とアンドロゲンの関係とその臨床上の重要性について検討する。
	研究対象者	西暦 2006 年 1 月 1 日～2017 年 12 月 31 日の 12 年間に、神奈川県立がんセンター乳腺内分泌外科で乳癌の外科治療を受けた患者さんのうちで、がん研究に対する包括的な同意が得られている方。
	研究期間	西 暦 2 0 1 8 年 8 月 2 3 日 ～ 西 暦 2 0 2 1 年 3 月 3 1 日
利用する試料・情報の項目 (チェック[X]が入った項目を利用します)	<input type="checkbox"/> 血液 <input type="checkbox"/> だ液 <input checked="" type="checkbox"/> 臨床検査データ <input checked="" type="checkbox"/> 病理組織 <input type="checkbox"/> 排泄物(尿・便) <input checked="" type="checkbox"/> その他(当センターの生体試料 <input type="checkbox"/> 毛髪 <input checked="" type="checkbox"/> 診療記録 センターが管理する凍結組織検体)	
試料・情報の 管理について の責任者	当センター 研究責任者	小井詰 史朗
試料・ 情報を 利用す る者の 範囲	当センターでの実施診療科/部局等	臨床研究所
	共同研究の場合、共同研究機関および各施設での研究責任者	該当しない。